

高校生9人に奨学金 多治見市 校條すみ基金が贈呈式



渡辺哲郎運営委員長(左)から
目録を手渡される生徒＝多治
見市本町、東濃信用金庫本店

「公益信託校條すみ学生奨学基金」の奨学金贈呈式が3日、多治見市本町の東濃信用金庫本店であり、東濃地域の高校生9人に奨学金が贈られた。同基金は1996年、市内に住んでいた

校條すみさんが資産1億円を投じ、東濃5市の高校生の学資に役立ててもらおうと、同金庫が信託代理店となって設立された。校條さんは2011年に98歳で亡くなった。毎年奨学生が選ば

れ、1人当たり年12万円を給付。今回で給付者は390人となった。贈呈式では同基金運営委員長の渡辺哲郎多治見市教育長が生徒に目録を手渡し、「感謝の心を忘れず奨学金を有効に使って夢をかなえてほしい」と語り掛けた。(松尾法尋)